

令和8年度 渋谷区青少年健全育成運動方針

渋谷区青少年問題協議会は、次世代を担う青少年が未来に向かって、夢や希望を持ち、地域社会の一員として「心豊かにたくましく成長する」ことを願い、区民が一体となって取り組むための青少年健全育成運動方針を定めます。

趣旨

渋谷区青少年問題協議会は、すべての青少年が心身ともに健やかに成長し、豊かな心を育みながら、自ら社会の一員であることを自覚し、自信をもって未来へ羽ばたいていくことを願っています。

令和7年版こども白書(※)では、2023年度の児童相談所における児童虐待相談が全国で22万5千件を超え、過去最多となったことが報告されています。また、小・中学校では不登校やいじめの重大事態が増加し、学校現場の課題も深刻化しています。

また、薬物、自殺、貧困、引きこもりなどの従来からの問題に加え、スマートフォンの普及によるSNS上のいじめや犯罪被害、「闇バイト」への誘導、ヤングケアラーの存在などの課題も顕在化しています。

青少年を巡る状況は依然として厳しさを増していますが、同白書では、子どもの多くが「現在の生活に満足している」、「将来への前向きな期待を持っている」と示されています。

こうした子どもたちの未来への思いを損なわないためにも、私たち一人ひとりが自らの立場で役割を果たし、行動することが重要であり、青少年が自分自身を肯定し、伸び伸びと成長できる基盤づくりに懸命に取り組む必要があります。

渋谷区青少年問題協議会では、青少年の意見も尊重しながら安全・安心な環境を整備するため、この運動方針に沿った4点の『重点目標』を掲げ、家庭・学校・地域及び行政がそれぞれの役割を果たし、緊密な連携を図りながら、地域ぐるみで青少年の健全育成運動を推進していきます。

※令和7年版こども白書については、
右の二次元コードを読み込み、ご確認ください。



運動方針



明るく健やかな家庭を作ろう

- 「おはよう」や「おやすみなさい」など毎日のあいさつを大切にしましょう
- バランスの取れた食事、適度な運動、十分な睡眠を確保し、健康的な生活習慣を身につけましょう
- 家族で過ごす時間を大切にし、絆を深めましょう



子どもたちと様々な体験をしよう

- 子どもたちが多様な文化や価値観に触れる機会を作りましょう
- 自然体験や地域活動を通じて、自立性や社会性を育みましょう
- 子どもたちの意見を尊重し、興味や関心を引き出す機会を多く作りましょう



地域のつながりを深めよう

- 地域の人とあいさつを交わし、お互いに顔見知りになりましょう
- 地域の一員として、地域行事へ積極的に参加し、世代等を超えて様々な人と交流しましょう
- シティプライドを高めるため、地域の歴史や文化などを共に学び、その魅力を伝えましょう



安全で安心な環境づくりを進めよう

- インターネットの安全な利用方法を家族で確認しましょう
- 気軽に相談できる人や窓口が身近にあることを伝えましょう
- 青少年が犯罪に巻き込まれないよう、地域全体で見守りましょう